

常設展「特集震災10年—災害を生きた人々」について

1. 名称：常設展「特集震災10年—災害を生きた人々」
2. 趣旨：東日本大震災から10年を迎えるにあたり、近世から近代にかけて仙台地方を襲った地震・津波・噴火・風水害及び疫病・凶作などを取り上げ、人々がこうした災害をどのように受け止め、乗り越えてきたかを紹介する。また、東日本大震災について、市内沿岸地域の被災の様子や当館が行った資料レスキュー活動についても紹介し、震災と復興について改めて思い起こしていただく契機とする。
3. 会場：総合展示室の一部のコーナー、コレクション展示室Ⅱ、ミュージアムストリート
4. 会期：令和2年12月22日（火）～令和3年3月21日（日）
※コーナーごとに展示期間が異なる。詳細は別添一覧表のとおり。
5. 主な展示資料：「仙台城修復伺絵図」（寛文8年・1668年）、「安政二年八月三日地震被害調写」（安政2年・1855年）、「鍾馗図」（狩野古信筆、18世紀）、「痘診戒草 巻中」（文化6年・1806年）、「虎列刺病予防心得」（明治10年・1877年）
6. 関連事業：
 - (1) 仙台防災未来フォーラム2021への参加
パネル展示「東日本大震災が史跡に与えた影響と被災資料の保全活動」
会期：3月7日（日） 会場：国際センター
内容：被災した沿岸部の史跡や、資料レスキュー活動について紹介
 - (2) SMMA クロスイベント
パネル展示「特集東日本大震災10年—仙台の災害とミュージアム」
会期：2月11日（木）～4月11日（日）
会場：仙台市博物館・仙台市歴史民俗資料館・3.11メモリアル交流館
内容：3館の震災後の活動と、震災10年関連企画事業の相互紹介
7. 主な取材・報道等（1月31日現在）
 - (1) ラジオ Date fm Hope for MIYAGI 1月10日（日）
 - (2) テレビ 宮城テレビ ニュース番組「ストレイトニュース」1月29日（金）
東日本放送 ニュース番組「チャージ！」2月4日（水）
 - (3) 新聞 河北新報 1月12日（火）夕刊
朝日新聞 1月31日（日）以降に掲載予定
8. 観覧者数： 2,059人（1月31日現在、1日平均約69人）

9. 展示室の様子



総合展示室

「災害を生きた人々ー仙台城の被災と修復」



総合展示室

「災害を生きた人々ー仙台藩の疫病と信仰」



総合展示室

各コーナーに置いた共通タイトル



ミュージアムストリート

パネル展示「仙台市域の災害の記録」